

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第2学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み ①エネルギー変換の技術とは何だろう ②発電の仕組みと特徴 ③電気を供給する仕組み ④電気回路について考えよう ⑤電気機器を安全に使用するための技術 ⑥運動エネルギーへの変換と利用 ⑦回転運動を伝える仕組み ⑧機械が動く仕組み ⑨機械の共通部品と保守点検の大切さ ⑩エネルギー変換の技術の工夫を読み取ろう	9	(1)生活や社会を支えるエネルギー変換の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解すること。 イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること	・電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解している。	・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている	・主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。
エネルギー変換の技術による問題解決 ①問題を見出し、課題を設定しよう ②電気回路を設計・製作しよう ③機構モデルを設計・製作しよう ④問題解決の評価、改善・修正	8	(2)生活や社会における問題を、エネルギー変換の技術によって解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができること。 イ 問題を見いだして課題を設定し、電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること	・安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる技能を身に付けている。	・問題を見いだして課題を設定し、電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている ・友達の作品を的確に評価できる。
社会の発展とエネルギー変換の技術 ①エネルギー変換の技術の最適化 ②これからのエネルギー変換の技術	2	(3)これからの社会の発展とエネルギー変換の技術の在り方を考える活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。 イ 技術の評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えること。	・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、エネルギー変換の技術の概念を理解している。	・エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。
生物育成の技術の原理・法則と仕組み ①生物育成の技術とは何だろう ②作物の育成環境を調節する技術 ③作物の成長を管理する技術 ④動物を育てる技術 ⑤水産生物を育てる技術	2	(1)生活や社会を支える生物育成の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。 イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること	・育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している	・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	・主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている
生物育成の技術による問題解決 ①問題を見出し、課題を設定しよう ②生物の育成計画を立てよう ③成長段階に合わせて適切に育成しよう ④問題解決の評価、改善・修正	1	(2)生活や社会における問題を、生物育成の技術によって解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができること。 イ 問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること	・安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる技能を身に付けている。	・問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。
社会の発展と生物育成の技術 ①生物育成の技術の最適化 ②これからの生物育成の技術	2	(3)これからの社会の発展と生物育成の技術の在り方を考える活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。 イ 技術の評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えること。	・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、生物育成の技術の概念を理解している。	・生物育成の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。
情報の技術と著作権 ①著作権とは何だろう ②画像情報の処理 ③画像の仕組み ④簡単なプログラミング(なでしこ)	13	①著作権について確認させる ②画像情報の処理の方法と個人情報の扱いについて考えさせる ③画像の仕組みをみる ④簡単なプログラミングができるようにする	・画像処理に関わる基礎的な技術及び著作権の必要性について理解している	・情報処理に込められた問題解決の工夫について考えている。	・主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている ・友達の作品を的確に評価できる。

教科	技術・家庭(家庭分野)	学年	第2学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○衣服の選択と手入れ	9	○衣服と社会生活との関わりがわかり目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択について理解する。 ○衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、実践できる。	○衣服と社会生活との関わりがわかり目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択について理解している。 ○衣服の計画な活用、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできる。	○衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	○よりよい生活の実現に向けて衣服の選択と手入れについて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善し、生活を工夫・創造し、実践しようとする。
○住居の機能と安全な住まい方	6	○家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解する。 ○家庭内の事故の防ぎ方など家族の、安全を考えた住空間の考え方について理解する。 ○家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫できる。	○家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ○家庭内の事故の防ぎ方など家族の、安全を考えた住空間の考え方について理解している。	○家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
○生活を豊かにするための布を用いた製作	7	○布を用いて生活を豊かにするものを考え、製作の計画を立て、手縫いで生活を豊かにするものをつくる。	○製作に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	○布を用いた製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	○よりよい生活の実現に向けて、布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
○日常食の調理	3	○日常生活と関連付け、用途に応じた食品について、食品や調理用具の安全管理、適した加熱調理の仕方、地域の食文化について理解し、適切にできる。 ○日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え工夫することができる。	○日常生活と関連付け、用途に応じた食品について、食品や調理用具の安全管理、適した加熱調理の仕方、地域の食文化について理解し、適切にできる。	○日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について、問題を見いだして課題を設定し、決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
○生活の課題と実践	1	○家族、衣食住の中から課題を設定し、課題解決に向けて計画を立て、実践できる。		○自分や家族の生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	○よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
○購入・支払いと生活情報 ○消費者被害と消費者の自立	9	○購入方法、支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理について理解する。 ○売買契約の仕組み、消費者被害の背景と対応について理解し、情報の収集・整理が適切にできる。 ○物資・サービスに必要な情報を活用して購入について考え、工夫できる。	○購入方法、支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理について理解している。 ○売買契約の仕組み、消費者被害の背景と対応について理解し、情報の収集・整理が適切にできる。	○物資サービスの購入や自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	○よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入や消費者の権利と責任について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。